

### 『医療用ウィッグの購入費助成事業が始まりました』

令和4年4月1日から広島県より、医療用ウィッグの購入費の助成制度が開始されました。

抗がん剤等のがん治療の副作用で脱毛は頻発します。見た目の影響は社会生活を営む上で、外出の機会を減少や外見の変化に伴う落ち込みなど気分にも影響を与えます。

そのため、治療に伴う脱毛に対して医療用ウィッグを求める方が増えてきています。しかしながら、医療用ウィッグの購入費が負担になることがあります（商品にもよりますが、数千円～数十万円）。治療費とは別にかかるため家計への影響は大きなものになります。そのような方への助成制度が注目をあびています。

対象者は

- ①広島県内に住所を有する
- ②がんの治療を受けた（現に受けていること）
- ③がんの治療により脱毛が生じた又は生じるおそれがあり、その脱毛による外見の変化を補完するために、医療用ウィッグを購入したこと

助成金額：購入費の半額（上限 50,000 円）

※詳しくは、東棟2階「がん相談支援センター」へお問い合わせください



認定がん専門相談員  
社会福祉士：正富

看護師：益村

コラム ～その32～ 『がんの再発や転移のことを知る』 がんになったら手にとるガイドより抜粋

再発や転移の起こり方は複雑で、必要な検査や診断方法、治療の流れもさまざまです。

「再発」とは、手術で取り切れなかった目に見えない小さながんや、抗がん剤や放射線治療で一度は小さくなったがんが再び大きくなったり、別の場所に同じがんが出現することです。

「転移」とは、がんが最初に発生した場所から、血液やリンパに入り込み別の臓器に移動し、そこで増えることを言います。

「播種」とは、がんのできた臓器からがん細胞がはがれ落ち、近接する体内の空間（胸腔や腹腔）に散らばるように広がることです。

### 再発・転移への対応

がんの種類や性質などから、再発のしやすさ、転移の起こりやすさ、場所などがある程度予測して対策をとることができます。再発・転移について早めに診断したり、目に見えない小さな転移があるものと想定して治療を開始することが有効な場合もあります。しかしながら、再発や転移を完全に防ぐことはできません。がんの状態とあなたの身体の状態に合わせて相談していくことが大切になります。

